

# 議会運営委員会報告書

平成30年6月15日

備前市議会議長 立川 茂 様

委員長 沖田 護

平成30年6月15日に委員会を開催し、次の案件を協議したので議事録を添えて報告する。

## 記

- 1 議会報告会について
- 2 岡山県市議会議員女性の会について
- 3 執行部への申し入れ事項について
  - ① 一般質問の答弁について
  - ② 追加議案の送付について



## 議会運営委員会記録

招集日時	平成30年6月15日（金）		本会議散会后	
開議・閉議	午後2時43分	開会　～	午後3時20分	閉会
場所・形態	委員会室A・B	会期中(第3回定例会)の開催		
出席委員	委員長	沖田　護	副委員長	土器　豊
	委員	尾川直行		掛谷　繁
		中西裕康		石原和人
欠席委員		なし		
遅参委員		なし		
早退委員		なし		
列席者等	議長	立川　茂	副議長	橋本逸夫
傍聴者	議員	なし		
	報道	なし		
	一般	なし		
説明員	議会事務局長	草加成章	議会事務局次長	入江章行
	議事係長	石村享平	議事係主事	楠戸祐介
審査記録	次のとおり			

## 午後2時43分 開会

○**沖田委員長** ただいまの出席は6名です。定足数に達しておりますので、これより議会運営委員会を開会いたします。

まず、議会報告会につきまして、事務局から説明がございましたらお願いします。

○**石村議事係長** 議会報告会につきましては、日程、会場、議題、それから班編成について議会運営委員会において最終決定をいただくこととなっております。日程と会場につきましては、前回の議会運営委員会で御報告しましたとおり、8月20日から、23日を飛ばして24日までの期間で例年どおりの会場で開催をするよう、会場を押さえております。

それから、議題につきましては、報告会に関する内規におきまして、各会場の議題は統一することとし、議会運営委員会において決定することとなっておりますので、議題の決定方法等を本日本決めいただきたいと考えております。

班の編成、構成につきましては、内規において、班は議員7人で構成し、2班を編成する。正副議長は班の構成員にはならない。班構成は予算決算審査委員会を除く各常任委員会から委員を2組に割り振り、各常任委員長が報告会を開催する前々月までに議会運営委員長に報告する。最終決定は議会運営委員会において班編成を決定することとなっております。

○**沖田委員長** ありがとうございます。

班の編成は7人7人ということで、厚生文教とそれから総務産業でいけるんですかね。

ちょっと事務局、お願いいたします。

○**石村議事係長** 総務産業委員会の現委員が7名、それから厚生文教委員会は副議長がおられますのが、内規によりますと正副議長は構成員となられませんので、副議長を除く7人で、3人4人に分かれていただいて、総務の4人と厚生3人、総務の3人と厚生4人で2班を編成いただけたらと考えております。

○**沖田委員長** はい、わかりました。

それはもうそれでよろしいですね。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

では、これから総務産業、厚生文教委員会がありますので、そこで選んでいただきます。

議題についてですけれども、御意見をいただければと思います。報告会ですから、報告は必要だと思うんですけど。

○**掛谷委員** 今まで議会報告は一方的に報告して、最後に意見交換という流れがあって、2年前ぐらいから、報告を30分程度にして、逆に1時間程度参加者の御意見を聞くという流れになっているわけです。人数の問題もあるんだけど、同じことを同じ人が質問されると、その辺が課題になっていると思うんです。今までは総務産業で2題、厚生文教で2題、4つやっ取るわけです。7分ぐらいでパワーポイントでやっていますんで、もう同じパターンでいくか、議会報告会と意見交換会が実質的なネーミングなんです。だから、ことしも同じように踏襲してやるのか、

変えていくのかというふうなところになるんじゃないかと思うんですけど。

○沖田委員長 じゃあ、プレゼンは今回30分ぐらいにはなるということもあるんですね。

○尾川委員 今、掛谷委員が言われたんですけど、30分と60分ぐらいの意見交換ということで、中身の問題を議論したほうがえんじゃねえかなと思うんですけど。全然報告せんというわけにはいかんと思うし、そうかというて少し意見交換会に趣を変えろということに重点を置いたらどうかという意見を持っていますけど。

○沖田委員長 ありがとうございます。

議員の場合はなかなか回答ができないので、意見を聞いてというところが主眼になりますかね。勝手に回答できないところもあるんで。30分ぐらい報告して、あと残り60分ぐらいですかね。

○石原委員 先ほど委員からもあったんですけども、年4回毎年開催されていて、昨年がたしか上下水道についてを総務産業委員会から、子育て支援についてを厚生文教委員会から、冒頭の挨拶から報告までを恐らく前半30分ぐらいでやって。来年度以降をどうするかにつなげていけばいいと思うんですけど、時間配分であったり、内容としてはせめて1つずつぐらいは報告をして意見をいただく、交換する、そういう形で今年度はいけばいいのかなと。

○沖田委員長 ちょっと教えていただきたいのが、30分報告したら、その報告した内容について御意見をいただくような感じになりますか。

○掛谷委員 両方です。

○石原委員 昨年度のパターン、会場によっても違いますけど、意外と報告したことについてはそんなになくて、何でも結構ですから時間いっぱいまで御意見くださいというような話に多分ありがちとは思いますが。

○中西委員 いや、委員会から何か議題と言われたら、今この時点で正直何か議題を出せんですね。委員会を開かれたとしても、今回の議案からしても間に合うのかなというところがね。

○石原委員 先ほど事務局からも説明をいただいたとおり内規で議会報告会を年1回開催するというようなことがあるんでどう捉えるかなんですけど、もうはなから議員と語る会とか、そんなんであればさっき中西委員言われた、わざわざ委員会からお題目を上げずに、もういきなりというのもまあまあどうなんかなと。

○尾川委員 もともと当初予算からの話なんで、6月補正だけの話じゃない。年1回なんだから。いろんな問題で8月開催が適当だろうと。本来、議会ごとに報告するのが普通というか、ちょっとした議会はやっとなんちゃけど、そこまでなかなか。近隣の市議会は大体年1回、2月にやったり、たまたま備前は8月にやりようるけど、8月も一番取り組みやすいというたら語弊もあるけど、そういう形でやっとなんちゃで、前からもう一回はやったらどうかというのあるんだけど、何か苦情を言われるだけになってしまうから、来る人も特定されとるしというようなことがあって、何となしに年1回というのが続いとるというふうな。だから、何もねえということはない

い。当初予算が、そりゃあ議会だよりでも出とんだけど、それを直接市民のところへ行って議員が話をするという目的で、そういう意味だからね。

○中西委員 僕は、石原委員が言われたような議員を囲んで語る会みたいな形もいいんじゃないかという感じがするんですよ。恐らく何か報告しても、そのことについて御意見が出たり出なかったり、まちまちでしょうけども、やっぱり市民の皆さんは議会に言いたいこともたくさんあるでしょうから、そういうのをざっくばらんに懇談会というんか、囲んでざっくばらんなね。

○石原委員 議会の報告会なんですけれど、4年間の感覚としては、専ら行政に成りかわって市政の部分で、議決はしたことがあったり、計画的なこともあるんですけど、成りかわってお伝えして、その場で御意見、質問いただいても、その場で答えられることばかりでないんで、一旦持ち帰りますみたいなやりとりが結構多いんで、中西委員の言われたような、行政についても議会そのものに対しても市民の皆さんと議会のありようであったりというようなところも含めて語り合う会というか、そういうほうが何か報告者として参加させていただいて感じるのは、自分の思いもそんなに言ったら、個人的な考えは余り差し控えてくださいとかというのがあったりして、何か屈託のないやりとりができる場もありじゃないかと思うんです。

○沖田委員長 確かに尾川委員が言われたように、当初予算を審査してというのがこの議会報告会創設の趣旨の筋論から見たらそうだと思うんですけど、残念ながら我々もそこにいなかったということで、ここも3人が新人ということになるんですけど、それが正しいと思うんです。

○尾川委員 いなかったからどうこういう意味言ようるわけじゃないんだけど、ただ課題としたら報告とするより意見交換会で、いつも言う、ここが議論のいるところなんだけど、議員個人の意見は慎むというのが、この議会としての意見を集約した形に建前的にはね。ただどうしても節々には誰々議員はこういう発言、こういう結論を出したとかというふうなことに触れてくるんだけど、建前的には議会としては最終的にはこういう結論になりましたというのを発表すると。提案としたら、今までやってみて、例えば教育のまちと標榜しとるなら、そういう人を対象にして意見交換するとか、それは委員会がわたって違うかもわからんけど、商工振興をテーマとするなら商工会議所がえんかどうか、私は余り賛成じゃねんじゃけど。まずは教育のまちというて大分たって、その辺の意見を、限られた人が来てくれるかという問題もあるし、ほいじゃあどこへ行くんかという、日にち決まっとるから、ここでやらざるを得んのやけど、例えばPTA総会のとくに行くとか、そういうこともできりゃあいいんだけど、これは一応日にち決まっとるし、それで夕方そういう時間に、保護者が来てくれるかというたら、また疑問な点があって、開いたら来ん、へえで今言う掛谷さんが言ったように、特定な人だけ対象にしてやって、全体じゃねえという場合もあるし。そこらをどう捉えてどうやっていくかというのがいつも問題でね。それで、もうテーマとすりゃあ、いつも決まっとるんですよ、もう。今だったら百条とかアルファの問題とか。そのくらいしか、あとの意見というたら、議論がなかったんです、はっきり言うて。

○中西委員 だから、6月、新しい議会で始まっているんで、議会だよりのこの6月号の新しい

のも出るわけで、それぐらいで議会全体がこんな形なんです、こういうことで議員は市民の皆さんと一緒に歩んでいきたいというようなイントロぐらいで御意見をお聞かせ願いたいというところで始めたらどうでしょう。

**○掛谷委員** そもそも全国的には北海道栗山町が議会基本条例をつくって、その中に議会報告会、議員は何をしょんならというところから、議会はこんなことをしょうりますという報告をやり出したんがスタート。だけど、おっしゃるように同じ人が来る、人数も少ない、そういうな課題の中で議会報告会自体がどっちかといえば、破綻しとるわけです、半分以上は。いやいや本当の話。だから、名前も議会報告会というものが本当に正しいかというたら、私も今疑問に思うとるわけです。だから、意見聴取会とか、皆さんとの語る会でもそれは構わんと思う。ただ、ここで変えるならその名前、ネーミングはどんなかな。議会報告会という名前が。変えられるなら変えてもいいよ。

**○沖田委員長** ちょっと事務局、その辺いかがでしょうか。

**○草加議会事務局長** 一応備前市議会報告会に関する内規というのがありますので、議会報告という言葉は入れてほしいんです。議員と語る会でもいいですし、意見交換会でもいいですけど、どこかに議会報告という部分を入れてほしいと思うんです。

今回は改選があつての報告会ということなんで、例年の報告会とは違うということは市民の方もわかってくださると思うので、さっき中西委員が言われたような形で入って行って、何を報告するかということで、例年2つですけれど、そこまでちょっと出せるかどうかはわかりませんが、そういった入り方でもいいんじゃないかなというふうに思います。

**○沖田委員長** 今ちょっと皆さんの御意見でいくと10分か5分ぐらい、議会全体の動きをイントロというんか、しゃべって、後は皆様と新人議員もあることだし、議会もこの6月スタートということで皆様と御意見を交換するというふうな、何か議会報告会の下にちょっと副題として何か語る会。

**○尾川委員** 去年はどうしとったかな。議会報告だけの一本になつとかな。2本立てみたいになつとったろう、意見交換を入れにゃあいけんと。

**○入江次長** 議会報告会として正式名称ではないですが、中ぼつ意見交換会とかというような、広報にはそう書かせていただきました。

**○沖田委員長** それだったら、別に問題はないわけ、内規から見てもね。じゃあ、ことしはちょっと5分か10分、最初班長がしゃべって、後は意見を和やかに交換するというんか、話し合うというようなところでいかがでしょうか。

〔「いいんじゃない」と呼ぶ者あり〕

いいですかね、そういうような感じで。

**○尾川委員** やっぱり各委員会から1つは絞って出すべき。それはもう委員会に任せりゃあえんじゃから。

○**沖田委員長** もう長くなくてもいいですよ。10分ぐらいでも。

○**尾川委員** それはもう委員会で決めてもらやあええ。

○**沖田委員長** じゃあ、委員会で1つは何か。あとはフランクに皆さんと語り合っ、言うことを言う。新たな時代を目指して、議会と市民の意見交換会になつとるから、ええわ。これをもう少し平たく。語る会でもいいと思う。

事務局、それでいいですか。

○**草加議会事務局長** はい。

○**沖田委員長** じゃあ、委員の皆様もそれでいいということであれば、できたら1つは10分か5分でもいいからプレゼンをして、あとは後の時間を使って、できるだけ1時間半で終われるようにスムーズな運営をして。

それから、さっきちょっと御意見いただいた、例えばその階層を、来られるかどうかわかりませんが、商工会とかあるいは子育てをする方たちを呼んでということは、以降の検討課題ということではよろしゅうございますでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、各委員会のほうで構成を決めていただくということで、時間がないんですけど、よろしく願いいたします。

それから、その他で申しわけございません、お配りしている県下市議会女性議員各位ということで、森本議員のほうからこういうこともあるんでということでした。ちょっと事務局から説明をお願いいたします。

○**入江次長** この御案内は、過去3年間事務局へ参っております。私どものほうで女性議員は森本洋子議員でしたので、お渡しをしたところ、いずれの会にも御参加をされております。今回、この御案内状を森本議員宛てに送付したところ、今回倉敷で、1年前は真庭でというような順番制をとられるようなこともあるようです。市議会議長会等々でこの問題が御検討されたことはいまだかつてないと聞いております。ということは、公式なものではないというようなものなんです。出かけていきますと、次期は例えば備前市さんお願いできませんかというような話をして、私のほうが何とも答えようがないということで、まずは議長を初め、議会運営委員会の皆様方にこの会があることを知っていただきたいと。そういう意味と、もし仮にお受けせざるを得ないか、したときに、幾ばくかの事務局の手だてとか、おいでくださったら大抵は市長かあるいは議長が出てこられて御挨拶をするんだというのもことし初めて聞かせていただきました。

じゃあ、議会運営委員会に一度は、その他の事項でも結構ですので御報告をしといたほうがいでしょうということで、委員長にお願いしてきょうの次第となったところです。どうお考えになるかというよりは、あくまでも非公式な会議でございます。備前市議会としてはどのように取り扱いをすればいいかというようなお悩みを委員長のほうへお届けされたので、この場にお出しさせていただきました。

○**沖田委員長** 森本議員が一応お聞きしたんですが、私ではちょっと判断しかねますし、先輩もいらっしゃるんで、今までこういう点で議論はないですか。

○**尾川委員** ちょっと要らんことを言うけど、岡山県の議長会があるんじゃない。議長会も持ち回りになっとう。それで、確かに持ち回りで公平に負担するというのはわかるんだけど、やっぱり津山へ行くとか、あるいは真庭に行くというたら、大変じゃが。岡山へ行くというたら、こっちの者は楽なから。それで、事務局も手薄なんかたくさんおるんか、いろんな自治体によって差があるから。だから、これでも例えばどこまでするか、やりゃあいいと思うけど、どこですか、各市へ回していくということがいいのかどうかという感じがあるんですけどな。

○**掛谷委員** 結局、1つは市の規模とか、市町村の中でも大変なところはあるわけですよ。備前だったら東備の端だし。だから、女性は1人はおると思うんですけど、わからないんですけど。田舎でもやったことがあるんかどうかな、そういう備前と同じような田舎でやった経緯があるかどうか。そういうのはちょっと調査が必要だし、女性議員といたら、岡山県何人おるんかね。これ極端に言やあ10名だったら、はい、この辺でというたらできるわけですよ。だから、規模もあるし、その自治体で受けたことがあるんかどうかな、岡山市とか倉敷とか玉野とか、5万人以上、瀬戸内なんかやっていませんよとか、そういう事例があると思うんですよ。その中で研究して調査して、できるものはするし、ちょっと無理があったら、やめようということで調査研究をちょっとしていただけないといけないと思います。

○**沖田委員長** 委員お二人言われたように、反対ではないと思うんです、皆さん。

○**中西委員** 僕は岡山県議長会なんかとは性格の違うものだと思うんです。やはり任意の団体で、その団体がいいことをしていることについては我々も認めてあげることができると。しかし、だからといってこの任意の団体に市議会が公にかかわることにはならないんじゃないかと。

以前、ちょっと形は違うけども親睦野球大会がありましたよね。やっぱり事務局はそういう仕事に手がとられて、それはほんなら事務局本来の仕事かどうかということ、やっぱり違うんじゃないんかと思うんです。こういった女性の会だとか何々の会をつくって、持ち回られて事務局の負担になったら、やっぱり歯どめがきかないと思うんです。やっぱりどこかできちっと任意団体についてはその任意でどうぞ活発にやってください、御声援はしますと。議長が電報を打つことぐらいはやぶさかではないというところにはあると思うんですけども、備前市議会がここに市議会事務局あるいはスタッフがかかわっていく問題ではないんじゃないかと。だから、森本さんやってもえませんかというたら、森本さんがこの事務局を仕切ってやると。それだったらいいんじゃないかと思う。

○**掛谷委員** いやいや、それはちょっと中西委員、ちょっと言い過ぎとる。というんが、そんなことを言うたら、岡山市、玉野市、倉敷市がかかわつとるのは違反行為みたいになるよ、任意団体で。これかかわつとる。

○中西委員 だから、それはきちっと線を引いたほうがいい。

○掛谷委員 線は引けばいいんよ。でも、受けてやっているわけよ。じゃあ、備前市は何で冷たいなあと思うところがあるから。それはそうでしょう。それだけのもんですよ。線引きしたら、当然こんな受けることはないですよ。受けることはないと思う。

○沖田委員長 いろいろあるんですけど、女性参画社会の中で、できること、中西委員がおっしゃったように何でもかんでもというところもあると思うので、少し事務局のほうで経過を調べていただいて、どこまでできるものなのか、できないものなのか、少しお手数かけますけど、ちょっと調べていただいて、改めて。中西委員も別にこのことが悪いということでは言われているわけではないでしょうし、女性参画社会でもあります。ただどこで線引きかというのは確かにおっしゃることも筋論だと思いますので、だめですよというんじやなしに、一つ前向きにできるかどうか、少し知恵を出せるところがあるのかどうか、御検討をということで調査研究ということでよろしゅうございますか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

よろしく御理解をお願いいたします。

じゃあ、ほかに。

○尾川委員 議長、一般質問の通告をしているのに、何か通告が伝わってないというのがあるんで、もう少し議員からもよう聞いてもろうて、実態はどうか、決してその議員の肩を持ちようわけじゃないんだけど、少しその通告に対しての執行部の対応ということもちょっと確認するというか、問うたほうがいいと思う。通告書だけじゃなしに、読み原稿を渡す人もおろうし、渡さん人もおろうし、それでなおかつきちとした質問項目が伝わってねえという。

それともう一つは、答弁を後からしますというんが、後がいつか知らんけど、全然返事なしでそのまま会議終わって、一般質問済んでしもうたようなことが2つか3つあった。

○沖田委員長 2件ぐらいありましたね。

○尾川委員 教育部長もあつたし、それは関連質問か通告なしかもわからんけど、ちょっとその辺を明確にしてほしい。向こうの都合があるんじやろうけど。

○沖田委員長 いやいや、関係ない答弁はあつたりして、それはちょっと感じました。ほかの委員の方からもちょっとそれをお伺いしていますので。全体を見ていて結構食い違いも多かつたし。

○中西委員 実はその問題は提起しようと思っていたんですけども、ここを出たんでせつかくの機会ですから。

1つは、議員が通告をしてないことを聞いている例もあつたと。もう一つは、議員が質問してないことに対する答えもあつたと。つまりあそこの聞き取りのときにこう言ったでしようと言つたんじゃないなくて、あの演壇でどうしゃべつたかと、ここがやっぱり問題と思うんです。だから、かつての執行部であれば、僕なんか一般質問を1つ落とすと、答弁しなかつたですね。そ

これはもう第2回目のときには、もう質問なかったからお答えしませんというような形で、きちっとしていました。今回、議員のほうも執行部のほうも、そのところのルールがきちっと、あそこの演壇でどうしゃべったかということでやっぱり答弁してない、聞いてないというのが僕はやっぱりあるんで、両方ともやっぱりそれは気をつけなあかんことだなというふうに今回すごく思いました。我々議員のほうにもそれは言ってもらわなあかんし、執行部のほうにも言ってもらわなあかんし。

○**沖田委員長** これはやっぱり議運としても議長に対してきちっと厳しく。今回ちょっとひどかったように思います。

○**尾川委員** 余り具体的なことは言わんほうがいいと思うから言わんけどな。

○**沖田委員長** でも、私自身はそれを経験していますので。それを責めるというんじゃないし、お互いにいい方向に改善していくということで議運としても、議長からも御注意いただいていますけど、市長の数字の読み違いも意外と多かったと。これに対して議長のほうから注意していただいとんでありがたく思っておりますけど、議運としてもやっぱり議会が円滑に議論の場になるようにしていかなければなりませんので、議運の総意としてその辺は議長からお伝えいただくようにどうぞよろしく願いいたします。

○**中西委員** その点について言えば、いつの議運だったか、4日の議運で尾川委員が議案の提出が遅いという指摘をされたですね。質疑をしようにも、一晩寝て考えなあかんという。

〔「一晩ならまだええほうで、その日に出る」と呼ぶ者あり〕

それはやっぱりもう少し余裕を持って議案を出してほしいというのは要望してほしい。

それから、もう一つは今回の細部説明がまことにひどかった。きょうの農業委員会のスクールバス運転員の事故なんていうのは、ちょっとあそこであれ以上言えなかった。それぞれ知らなんだということで、もうお粗末な話で、ちょっと議案の提出も含めて。

○**沖田委員長** あれだと再質を打ち切ると言われても、ちょっと論外の話になってしまいますよね。だから、今回尾川委員からも出された質疑の通告の問題とか答弁漏れの問題とか、ちょっと一回整理して執行部のほうでも少しきちっとしていただかんし。

○**中西委員** やっぱり議案について責任を持って答弁できないというのは、僕は今回のような答弁はいまだかつて余り聞いたことがない答弁でしたね。それはやっぱり執行部に反省を促してほしいと思います。

○**掛谷委員** それと、きちっと早くきょうの会議中には出さないけんわな。出しますというて、いつ出すんやわからんし。答弁です。きのうのじゃったら、きょう出さんと。

○**中西委員** 向こうが言ったんなら、質問した議員も答弁どうなっとなかと、これは言わな。それは議員の責任ですよ。だから、そのところが議員も自覚を高めなあかんし、それから執行部も気をつけなあかんし、その両方だと僕は思う。

○**沖田委員長** でも、執行部も1時間もあれば調べられることだから、議会中でもメモを持つ

て、先ほど済みませんでした、こうこうこうですというて、その議員に言うぐらいの誠意は要る。公の場ですからね。議事録に残って、お互いに議論している。

○石原委員 きのうの再質のところですか、時間も押し迫ってあったりして、もう僕のほうからどっちみちもう限られた時間だし、後から結局出されるのであれば、ほんならもう資料で次の委員会のときに説明してくださいというような、それは議員としてはどうなんかかわからんですけど、思わずつつい時々言うてしまうんですけど。きょうすぐもう出んのが多分もう想定もされるし、出んじゃろうな思うこともあらかじめ、きょうはええから委員会のときに出してくださいというて、そのままそういう質問の仕方がどうなのかがちょっとわからんですけど。

○沖田委員長 でも、今回総体的に見ていたらきちっと聞いているはずですから、本来は答えられる、それかもうその議員の質問中にメモが回ってきて、答えられるぐらいの内容ではなかったかと。そんなに複雑な、数字の問題だけの話でしょう。だから、その辺は前であれば、すぐメモが来てというところがあって、その辺が少し曖昧になっているのかなというふうに感じました。

議会運営委員会として、議長のほうにもそういうことで含みおいていただいて、執行部のほうによろしくお願ひしたいと思います。

それで、また編集委員会はこの後あるので。

済みません、きょうはいろいろ貴重な御意見ありがとうございました。それでは議会報告会につきましては、ことしそういう形でとらせていただきますので、事務方のほうもどうぞ御配慮よろしくお願ひいたします。

きょうはどうもありがとうございました。

午後3時20分 閉会